

「中学生の税についての作文」

優秀作品表彰

12月12日、役場において「中学生の税についての作文」の表彰式が行われました。応募のあった124点の中から、「諏訪納税貯蓄組合連合会長賞」を2名、「富士見町長賞」を5名の方が受賞されました。

【受賞作文】

● 諏訪納税貯蓄組合連合会長賞

「豊かに暮らすための税金」

富士見中学校3年 鎌田 佳乃

「税金重要な事」

富士見中学校3年 小池 祐太

● 富士見町長賞

「税と公共サービス」

富士見中学校3年 沢崎雄一朗

「税についての話を聞いて」

富士見中学校3年 上條 もも

「私の生活と税金」

富士見中学校3年 馬場百合野

「温かい優しい」

富士見中学校3年 五味 桃花

「税金のある生活」

富士見中学校3年 前島 有歩



◎ 受賞作文から2点をご紹介します。

「豊かに暮らすための税金」

富士見中学校3年

鎌田 佳乃

「税金」と聞くとただお金を払えばいいと思っていた。何のために払うのか。それは国民が豊かに暮らせるようにするためだ。

私たちが毎日通っている学校。私達が普通に毎日通えるのはお母さん達が一生懸命働いてかせいだお金を税金として払ってくれているからだ。普通に払えたとしてもその値段は高い。でも税金というものがなかったら払う値段はびっくりするほど高く、中学校生徒一人当たり約99万円する。そんな額は当然払えないから学校にも行けなくなる。そう考えると税金ってありがたいなってしまう。学校へ行く時もちゃんと歩行者用の道もあり事故にあう危険性も少ない。こうやって設備されているのも税金のおかげ。国民が豊かに安全に暮らせるように出しあっているのだ。

まだまだたくさん自分の周りには税金がかかっているものがある。警察や消防署、学校や公園や道路。どれも生活に必要なものだ。これらが普通に使えるのも国民の人たちが払ってくれているからだ。では、税金がなかったら…。例えば

大きな街中を歩いていたら見知らぬ人に大切な物が入っているカバンを取られてしまった。早く警察を呼ばないと、と違って電話をかけたら、「犯人をつかまえるにはお金が必要です」と

言われた。今では電話をすればすぐ駆けつけてくれる。なのに税金のない世界では何もかもお金を払わなければいけないのだ。私たちが毎日毎日安全に学校に通えている歩道。税金がなかったら安全でもなくなり、きれいに整備もされないとと思う。例えば安全に配慮しながら歩いていたとしても、身勝手な運転手がおかまひなしにこっちに方向ってスピードを出して突っ込んできて事故にあってしまう。そうなるってしまおうと安全に配慮された歩道がいいと思う。これも国民の人が税金を支払ってくれているからである。

私は最初、税金を支払わなければならないという義務を知って、「税金なんていらぬ」と思っていた。学校で町役場の財務課の方が私たち3年生のために租税教室というものを開いてくれた。1時間という短い時間の中で学んだことがある。それは、「税金というものは国民の私たちにとって豊かに暮らすために必要な義務なんだな。」ということ。さっき書いたように税金なんていらぬと思っていたけど税金のない世界を考えたらどれだけ税金というものがありがたいのか凄いわかった。私たちが学校に通えるのも、道路がきれいに使えるのも全てお母さんやお父さん達が義務を守って払っているからだ。

私はこれからもっと税の事を知って将来、国のために、国民が豊かに暮らせるように義務を果たしていきたい。

「税金重要な事」

富士見中学校3年

小池 祐太

役場の町民税係の方による「租税教室」があった。話の中で一番印象に残ったことは、公立学校の中学生一人あたりの年間教育費が約百万円もかかっているということだ。毎月学年費として三千元を集金袋に入れて、学校に持って行っていったが、自分の知らないところでそれ以上に毎月約八万円のお金が税金から出ていたことを知った。今までは、義務教育ということであたり前のこととして学校に通い、何気なく生活してきたが、自分の知らない人達が支払ってきた税金で学校に通わせてもらっていたことに気づかされた。

更に、僕は毎日、町の体育館でバスケットボールの練習をしてきた。これもまた、あたり前のことのようにしてきたが、税金で環境が整えられていたからこそである。昨年もバスケットボールのゴールを新しくしてもらった。これも税金のおかげだ。そう考えると、自分が意識していなくても、自分の身近で多くの税金が使われているように思う。

しかし、税金は身近すぎるからこそ、難しい点もあるのではないだろうか。

先日テレビで、日本の大学教授の無料化について議論していた。ある人が、「日本も外国同様に、大学の授業料を無料化すべきだ。」と言う一方で、ある人は、「子供がいらない人もいるので、その人たちにとっては大学の授業料に税金をかけるのは納得がいかないのではないか。」

僕はこの議論を聞いていて、税金は多くの人が払う分、一人ひとりのニーズに合わせた使い方をするのは難しいと思った。みんなの税金が、みんなが幸せになるように使い道を決めることが、とても重要だと考える。なぜなら、僕の両親はいつも、「税金がなんでこんなに高いのだから」と嘆いている。僕は、高い税金を払うからこそ、もっと税金の使い道に興味をもつべきだと思う。国民のみんなが、自分のことだけでなくお互いの幸せも考えることが、税金が有効に使われることにつながるのではないだろうか。

僕はこの税金の勉強を通して、両親以上の人にも支えられており、結果的には国全体が税金を通じて支えられていると学んだ。自分が働いて税金を払えるようになったら、もっと税金のことを知り、一人の国民として有効な使い道について考えていきたい。



▲小池祐太さん



▲鎌田佳乃さん

1年間よろしくお願ひします 平成29年

区長・集落組合長紹介

問 総務課 庶務人事係 ☎02-6222

御射山神戸区 栗生集落組合	小林 茂光 小松 健二	富里区 富士見台区	北原 六雄 伊藤 洋一
大平区 松目区	三井 豊三 名取 淳三	桜ヶ丘区	樋口 正夫
原の茶屋区 若宮区	折井 浩治 前島 智博	下葛木集落組合	進藤 利雄
木之間区 花場区	樋口 近雄 五味 計彦	上葛木区 神代区	名取 正明 森山 高志
休戸区 横吹区	浅岡 正玄 窪田 大作	烏帽子区 平岡区	小林 明成 五味 紘一
とちの木区 富士見区	三井 眞澄 両角 幸雄	机区 先能集落組合	五味 千洋 名取 吉幸
南原山集落組合 富原区	名取 正夫 柿澤 宗夫	瀬沢区 小六区	久保 和夫 小池 茂雄
富士見ヶ丘区 塚平区	上條 貴宏 田村 正浩	高森区 信濃境区	小林 正俊 平出 泰廣
富ヶ丘区 乙事区	小澤 毅 五味 正文	池袋区 エンジェル・ジェルミ、ヘンリ	平出 尊次 小林 隆
立沢区 瀬沢新田集落組合	小池邦左門 雨宮 正一	田端区 先達区	平出 弥重 平出 尊次
		葛窪区 広原区	山口 英樹